

日本環境安全事業株式会社 入札監視委員会
平成24年度 議事概要

日本環境安全事業株式会社（以下「JESCO」という。）入札監視委員会の平成24年度委員会が、平成25年1月10日、JESCO本社において開催されました。議事の概要についてお知らせ致します。

開催日及び場所	平成25年1月10日(木) JESCO本社 A会議室			
委員	委員長 炭谷 茂 (社会福祉法人恩賜財団済生会理事長) 委 員 早川 哲夫 (麻布大学生命・環境科学部環境科学科教授) 委 員 稲垣 隆司 (学校法人名古屋学院大学理事長)			
審議対象期間	平成23年10月1日～平成24年9月30日			
抽出案件	工事(計19件)		業務(運転、点検、調査)(計42件)	
	H23(下期)	H24(上期)	H23(下期)	H24(上期)
一般競争	0	2	1	3
指名競争	0	0	0	0
随意契約	4	13	12	26
競争性のある随意契約	0	0	0	0
委員からの意見・質問 及び回答	意見・質問		回答	
	【別紙】のとおり			
委員会による意見の具 申又は勧告の内容	今回審議した内容については特に問題がなく、適正に執行されていると判断するが、以下の3点について、今後検討し努力すること。 1 一般競争入札であっても参加者が少ないと、結果として価格が高止まりとなることがある。確実に業務が遂行できることが大前提ではあるが、幅広い事業者の応札が可能となるような入札参加条件とするよう、更に検討を加えることが必要である。			

	2 JESCOの事業は他にない特殊な業務であるため予定価格の設定が難しいところではあるが、徐々に蓄積されてきた知見を十分活用し、できるだけ安い、高止まりしない、より合理的な価格設定となるよう努力することが必要である。 3 低入札の場合の業務の質の確保について十分工夫していることは理解したが、今後も低価格の入札が出てくることが推測できるので、その場合、質を十分確保できるよう、更に一層の注意が必要である。
--	--

【別紙】委員からの意見及び回答

意見・質問	回 答
【工事】一般競争入札 (1) 北海道 PCB 廃棄物処理施設設置工事（増設） 特高配電線路工事 ○ 低入札価格調査結果にある、取引実績が豊富な下請事業者の採用により経費縮減ができること、及び関連会社からの資材調達などにより材料費を圧縮できる等の条件を、他の工事発注の際の条件とすれば、他の工事もっと安くなるのではないか。 ○ 応札をした3者のうち2者が低入札調査対象の応札をしているが、そもそも予定価格が適正だったのか。また、質の担保はしっかりとされているのか。	○ 一般競争入札は国に準じて行っており、参加者を広く募ろうということから、参加の条件は必要最小限で行っている。 ○ 予定価格の算定に当たり、歩掛等については国土交通省に準拠して算定するとともに、それ以外のものはメーカー3者から見積を聴取し、それぞれ最低価格を作成している。入札で2者が調査基準価格を下回ったが、他の1者は予定価格を超えていることから、予定価格は妥当であったと考えている。また、業務実施に当たり、週報、月報に加えて日報も提出させて確認し、出来形の写真管理も厳密に実施するなど、現場施工状況の管理を適切に実施したことなどから工事は問題なく完成している。

【工事】随意契約

(2) 大阪事業所東棟オンラインモニタリング増強工事

○ P C B 廃棄物の処理は特殊であり、事業を発注する際の予定価格の設定が大変難しいのではないかと心配される。

○ 一般的な考え方として聞くが、随意契約の入札が不落札になった場合に、随意契約をやめて一般競争や指名競争に切替えるという手続きは有り得るのか。

【業務】一般競争入札

(1) 平成 24 年度処理状況分析及び操業改善等支援業務

○ 昨年、一昨年は 2 者の参加があったが、今年の参加者は 1 者となっている。総合評価の評価基準を見ると「処理施設を十分理解」や「実績を有している」等に対する加点があり、今回落札した事業者以外は参加しにくいのではないかと。

○ 従来、随意契約で実施していたものを総合評価落札方式に変更した理由は何故か。また、結果として 1 者入札になってしまったことについてどう考えているか。業務を分ける工夫を検討する余地はないか。

○ 特殊なものであるため、通常の物価資料等に歩掛や単価がない場合は、市場調査、類似のものについての適用の可能性、過去の実績の蓄積などにより予定価格を算出している。本件の予定価格については、別の事業所のオンラインモニタリングを設置した際の状況を踏まえて厳しく見積を査定している。

○ 唯一、この事業者しか業務が完全履行できないことから、一般競争や指名競争には馴染まず随意契約によることとしているため、2 度目の入札で落ちなくても交渉を重ねていくこととしている。

○ 最低限クリアしないと競争に参加できない基礎点とはしていないが、過去に実績があることについてはある程度は加点要素として必要と考えている。ただし、組織としての実績ではなく、従事者の実績能力として加点要素とするなど、事業者そのものを排除することとならないよう工夫はしている。

○ 毎年、業務内容は変化しており、今回の業務については競争入札が可能であろうということと、行政において随意契約見直しの動きがあったことを踏まえて総合評価落札方式に変更した。業務の質の確保のために加点の採点が厳しくなり、新規参入のハードルが高くなってし

【業務】随意契約 (2) 北九州PCB廃棄物処理施設（第2期）真空加熱分離設備定期点検業務（平成23年度） ○ 今回定期点検は始めてか。また、契約金額は過去と比べてどうなっているのか。 ○ 定期点検の場合、予定価格と落札価格の比率は大体似たようなものなのか。	まったく考えている。指摘を踏まえ、工夫して発注を分割するなどの検討の余地はあると考えている。 ○ 点検は今回が3回目である。1年点検、3年点検、5年点検など項目によって周期が違うので、毎回契約金額は変わってくる。 ○ 仕様を固める段階で、点検事業者との間で入念な詰めを行い経費を適正に見積もるので、あまり予定価格を下回らない。
---	--

【議事概要参考】

日本環境安全事業株式会社入札監視委員会は、「公共工事の入札及び契約の適正化の促進に関する法律」（平成12年法律第127号）の趣旨を踏まえ設置された第三者機関です。

同委員会の任務は、以下のとおりです。

- ① JESCOが発注したPCB廃棄物処理事業に係る工事等に関し、入札・契約手続の運用状況について報告を受けること。
- ② 当該工事等の中から委員会が無作為に抽出したものについて、一般競争参加資格の設定の理由及び経緯並びに指名競争入札に係る指名の理由及び経過等について審議し、不適切な点又は改善すべき点があると認めた場合に、JESCOに対して意見の具申又は勧告を行うこと。
- ③ 公募型及び通常指名競争入札並びに随意契約における入札・契約手続に係る再苦情処理を行うこと。

【問合せ先】

東京都港区芝一丁目7番17号 住友不動産芝ビル3号館4F

日本環境安全事業株式会社

管理部入札監視委員会事務局

契約・購買課